

免見明言

佐野テック社長

佐野 明郎氏

(さの・あきお)

橋りょうの部品製造などを手掛ける、佐野テック（本社三重県菰野町、佐野明郎社長、電話059-391-0200）は、働きやすい職場づくりを推進している。長時間労働の是正や有給休暇の取得率向上などを進める佐野社長に、取り組みの詳細を聞いた。

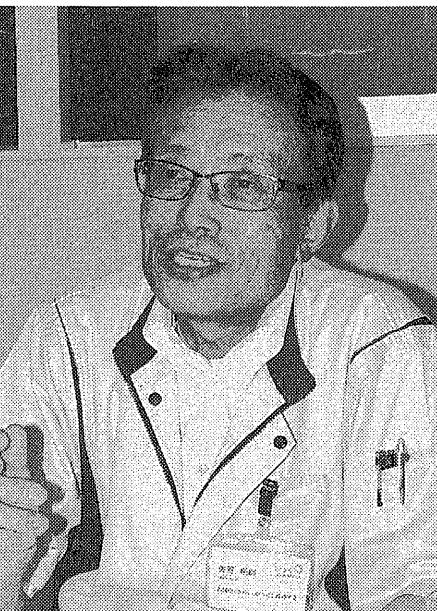
— 残業の抑制を推進して

「そもそも、繁忙期の10ヶ月は残業が多くなった。昨年11月に『退社目標時間』を午後7時半と定め、長時間労働の是正にかじを切った。帰社時間を早めるには、

（聞き手・山田駿太）

まず社員自身が仕事の段取りを見直し、効率のよい働き方に変える必要がある。社員の努力だけでは改善が難しい場合は、上司との面談を行い、対策を検討する。急ぎの仕事でなければ翌日

「有給休暇を取得しやすい雰囲気づくりを意識している」と話す佐野社長



働きやすい職場づくり推進

に回したり、手が空いてい
る他の社員に業務を分配す
るなどの方法がある」

「地道な取り組みが奏功
し、残業は劇的に減った。
現在は午後6時までの帰社

を目標に掲げている。残業
代の削減分は、社員の待遇
改善に振り向ける」

「有給休暇取得率の向上
を聞くことを禁じてはいる」

「また、社員の多能化
を進め、一人が休みを取つ

ていても、出勤している他の社員でカバーできる体制を整えている。現在、全従業員70人がそろうつ日は、2ヶ月に1回ほどだ」

— 全国健康保険協会の「健康事業所宣言」事業に参加するなど、社員の健康増進も図っている。

「毎週水曜日の終業後には本社会議室を活用し、バレー、ヨガ、フィットネスを組み合わせた運動『バレンタイン教室を開催している。社員からは『心身ともにリフレッシュできる』と好評だ」

「また、社員一人一人が、名札に健康に関する数値目標を記載する活動も行っている。顧客を訪問した際の話題づくりにも一役買つている」